



“地域のことは地域で考えよう”

2016年5月30日

## おきぎん県内景況・速報 2016年4月

### 一県内景況は、拡大している一

#### ■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。  
百貨店売上高は前年同月を上回る。  
家電卸出荷額は前年同月を上回り、新車販売台数も上回る。

#### ■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を上回る。  
生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

#### ■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数は下回る。  
ホテル稼働率は、リゾートホテルが前年同月を上回り、シティホテル、ビジネスホテルは下回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

#### ■企業倒産

件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

### 現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2016年4月分)

◎2016年4月 おきぎん「カトリア」景況図



◎概況：県内景況は、拡大している。

4月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は衣料品や雑貨などが好調で、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、太陽光パネルやエアコンの売上増加などにより前年同月を上回りました。新車販売台数はレンタカー需要の増加などから前年同月を上回りました。

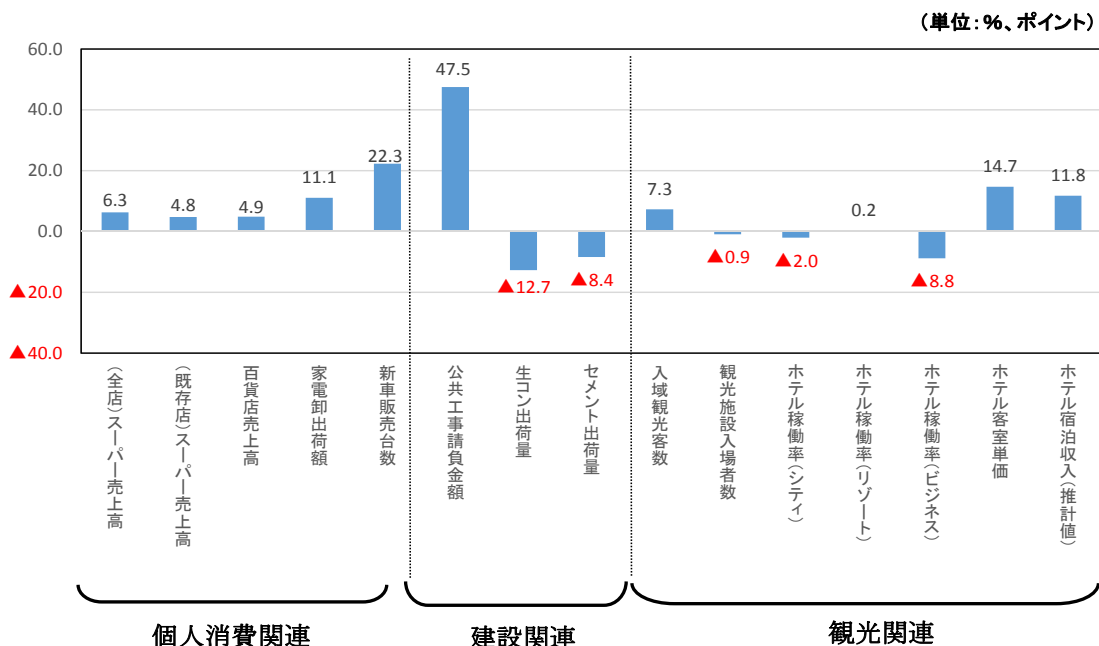
建設関連では、公共工事請負金額は、独立行政法人等や沖縄県発注による工事増などで前年同月を上回りました。建設資材である生コンやセメントはともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は43ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数は前年同月を下回りました。ホテル稼働率はリゾートホテルが前年同月を上回り、シティホテル、ビジネスホテルは下回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連でも好調な動きが継続していることなどから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。

(2014年2月の上方修正後から27ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比



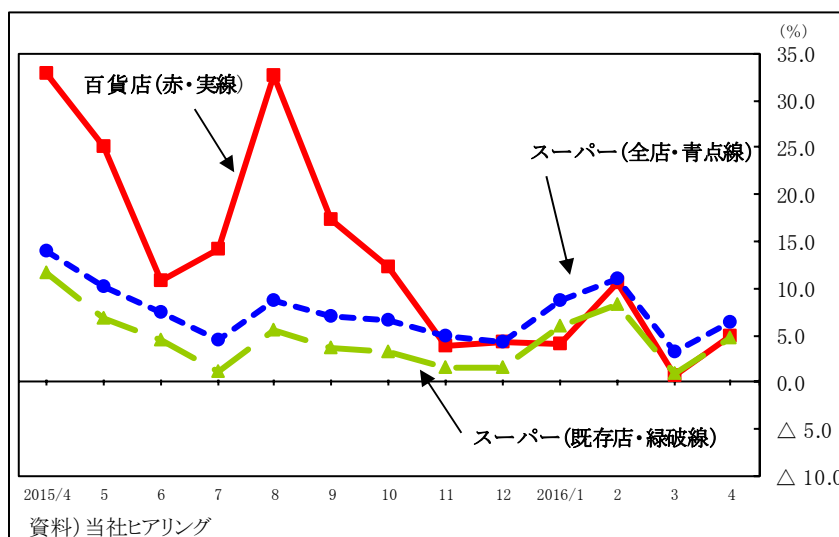


■ 個人消費: (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

単位:%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2015/4	13.9	11.7	32.8
5	10.1	6.9	25.0
6	7.4	4.5	10.8
7	4.6	1.1	14.2
8	8.7	5.6	32.7
9	7.0	3.7	17.3
10	6.6	3.3	12.3
11	4.9	1.5	3.8
12	4.2	1.5	4.2
2016/1	8.8	5.9	4.0
2	11.1	8.3	10.5
3	3.3	0.9	0.7
4	6.3	4.8	4.9

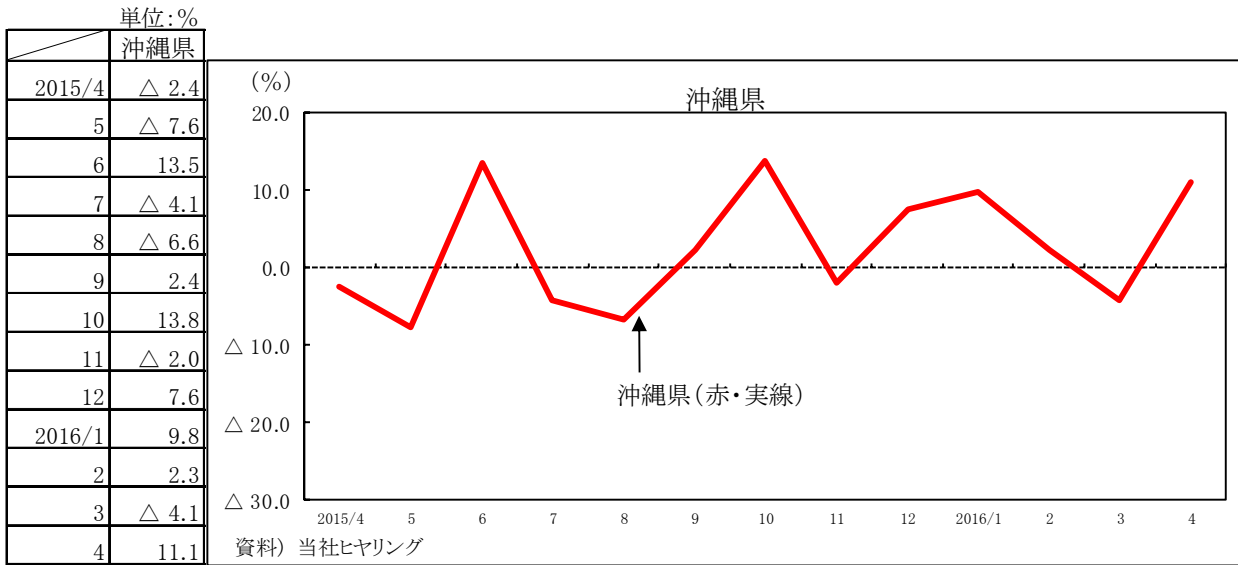


注2) スーパー売上高(既存店)については、2015年3月、4月データの誤差調整の後、修正を行なっております。本数値を参照の際には、最新のリリース情報をご覧ください。

4月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は「**全店ベース(前年同月比6.3%増)**」が13ヵ月連続で前年同月を上回りました。前年より土曜日が1日多かったほか、新規出店効果などにより、ウェイトの高い「食料品(同5.4%増)」や家電を含む「家庭用品(同10.5%増)」の売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。「**既存店ベース(同4.8%増)**」は店舗改装による集客効果などから、13ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品(同4.4%増)」は、生鮮全般(精肉・水産・青果)や惣菜の売れ行きが堅調だったことなどから、前年同月を上回りました。「衣料品(同4.0%増)」は、気温が高く推移したことなどから、夏物衣料の売れ行きが好調で前年同月を上回りました。また、家電を含む「家庭用品(同6.8%増)」は買い替え需要などから白物家電(エアコン、洗濯機、冷蔵庫)やテレビなどでの売れ行きが堅調だったほか、訪日観光客による雑貨需要(化粧品、小物類)の増加などから、前年同月を上回りました。

**百貨店売上高**は、前年より土曜日が1日多かったほか、周年企画の開催や店舗改装による集客効果などから、「衣料品」や「雑貨」の売れ行きが好調で、前年同月を上回りました(同4.9%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同8.8%増)」は、周年企画などの販促強化により、主力商品である「婦人服(同9.2%増)」の売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。また、「雑貨(同18.2%増)」や「身の回り品(同20.1%増)」は、継続的な国内外観光客需要により化粧品などの売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。一方で、「食料品(同9.4%減)」は、新規テナント出店などによる集客効果から、生鮮全般の売れ行きが堅調だったものの、一部物産展の催事減少が影響し、前年同月を下回りました。

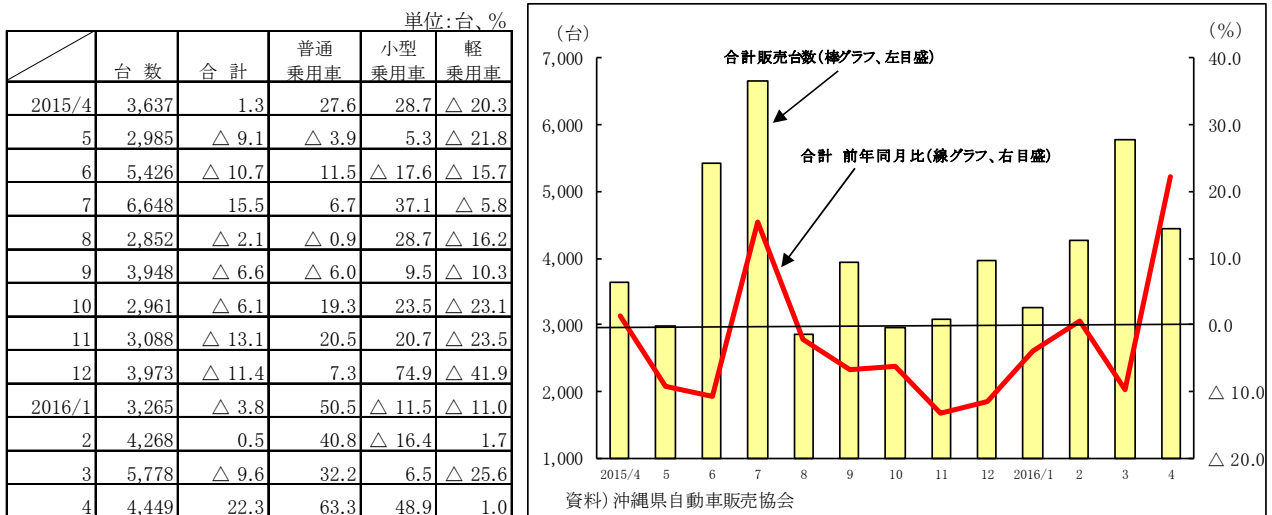
②家電卸出荷額…太陽光パネルやエアコンの売上増加などにより、前年同月を上回る。



注) 前年同月比

**家電卸出荷額**は、太陽光パネルやエアコンの売上増加などにより、2 ヶ月ぶりに前年同月を上回りました(同 11.1%増)。品目別では、「太陽光パネル(同 120.6%増)」は、前年に大きく落ち込んだ反動から前年同月を上回りました。「エアコン(同 10.8%増)」は気温が高く推移したことなどから売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。また、「テレビ(同 18.9%増)」、「冷蔵庫(同 10.3%増)」、「洗濯機(同 4.1%増)」は新型商品効果や販促強化などにより売れ行きが堅調だったことから、前年同月を上回りました。

③新車販売台数…レンタカー需要の増加などから、前年同月を上回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

**新車販売台数**は、全体で 4,449 台(同 22.3%増)となり、レンタカー需要の増加などから 2 ヶ月ぶりに前年同月を上回りました。車種別では、レンタカー需要の増加などから「普通乗用車(同 63.3%増)」は 7 ヶ月連続、「小型乗用車(同 48.9%増)」は 2 ヶ月連続で前年同月を上回りました。また、「軽乗用車(同 1.0%増)」は前年に落ち込んだ反動などから 2 ヶ月ぶりに前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

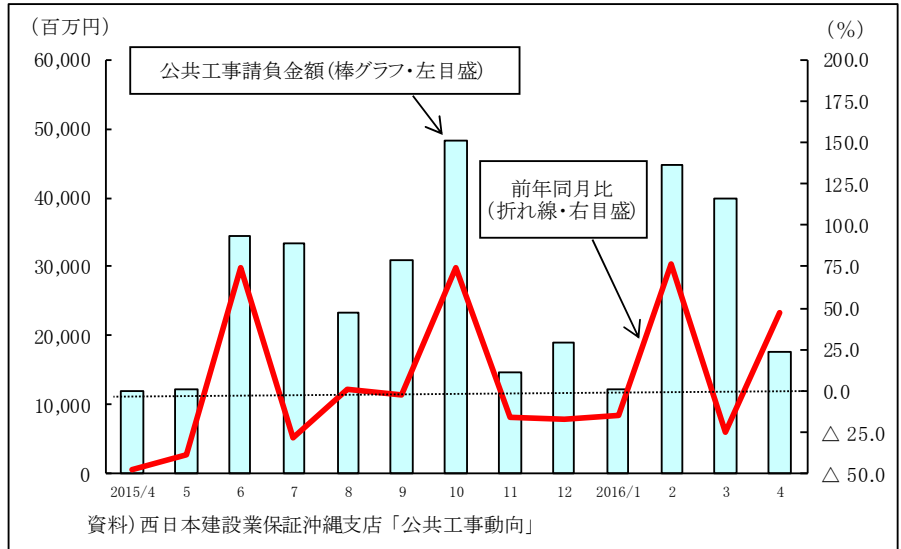


■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

単位:百万円、%

	請負金額	前年同月比
2015/4	11,991	△47.8
5	12,215	△37.9
6	34,358	74.0
7	33,472	△28.3
8	23,352	0.8
9	30,835	△2.1
10	48,301	74.7
11	14,816	△15.4
12	19,114	△16.8
2016/1	12,202	△15.0
2	44,788	76.4
3	39,972	△24.7
4	17,690	47.5

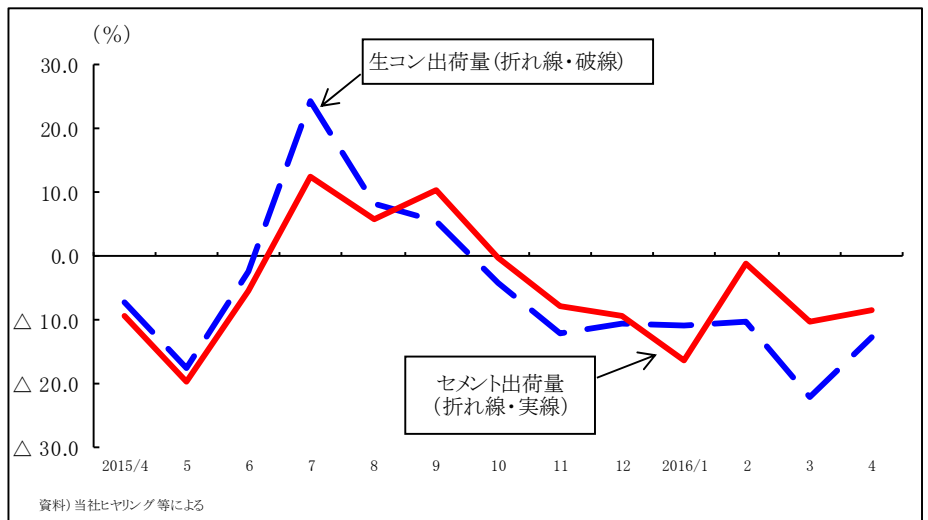


4月の公共工事請負金額は、前年同月比47.5%増の176億9,000万円となりました(2ヵ月ぶり増)。発注者別でみると、「市町村(同6.2%減)」が前年同月を下回ったものの、「国(同34.7%増)」は、高架橋関連工事など、「独立行政法人等(約110.2倍)」は前年水準が低かった反動など、「沖縄県(同45.3%増)」は新県立八重山病院建設工事などの大型工事により前年同月を上回りました。

②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

単位:前年同月比(%)

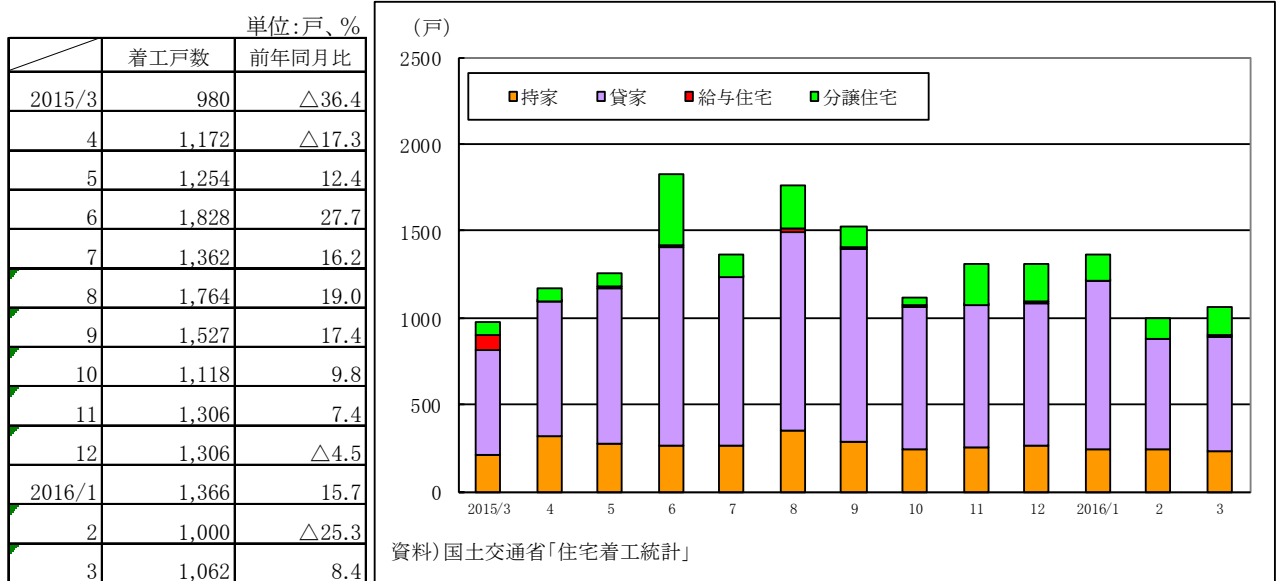
	生コン	セメント
2015/4	△7.2	△9.3
5	△17.6	△19.6
6	△2.3	△5.3
7	24.3	12.4
8	8.4	5.9
9	5.5	10.4
10	△4.2	△0.2
11	△12.2	△7.7
12	△10.5	△9.4
2016/1	△11.0	△16.3
2	△10.2	△1.2
3	△22.2	△10.2
4	△12.7	△8.4



(注1)セメント出荷量は、速報値につき、確認にて修正される場合がある

**建設資材関連**では、**生コン**の出荷量は12.7%減少し7ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より21.2%下回り、民間工事向け出荷も8.4%下回りました。**セメント**出荷量も8.4%減と7ヵ月連続で前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資(3月)…着工戸数は前年同月を上回る。



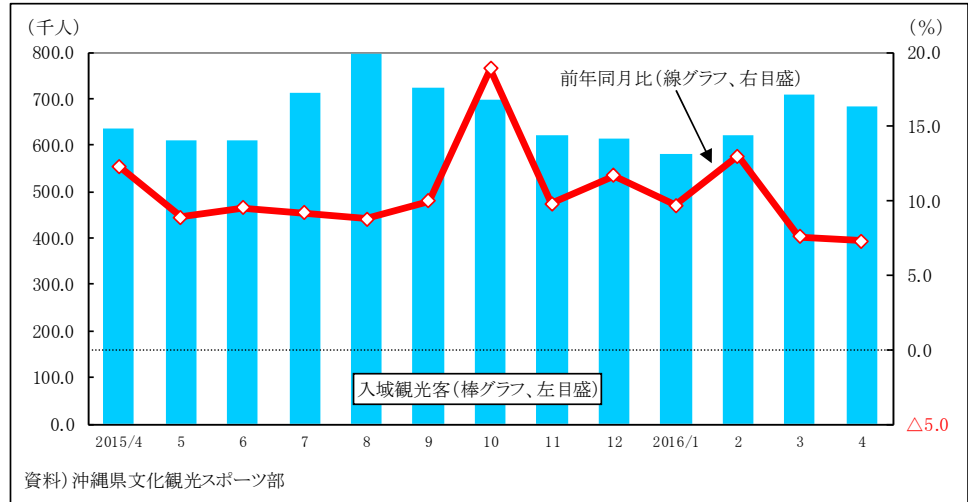
新設住宅着工戸数(3月)は、全体で前年同月比8.4%増の1,062戸と2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同8.2%増)」や「持家(同11.1%増)」に加えて、「分譲住宅(同106.2%増)」などが前年同月を上回りました。



■観光関連： (良い)

①入域観光客数（国内客・外国客の合計）…43ヵ月連続で前年同月を上回る。

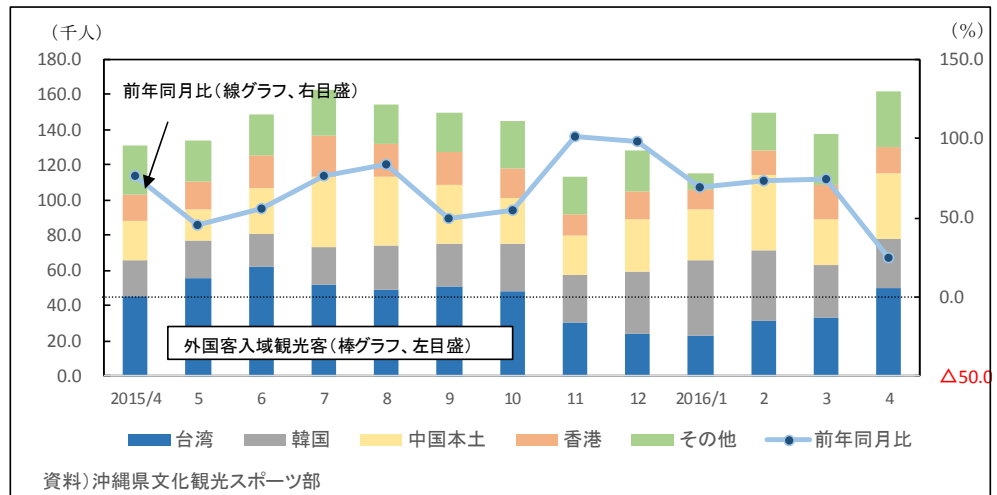
単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2015/4	635.4	12.3
5	611.4	8.9
6	610.0	9.5
7	714.0	9.2
8	797.5	8.8
9	724.7	10.0
10	696.8	18.9
11	619.6	9.8
12	613.6	11.7
2016/1	581.6	9.7
2	622.5	13.0
3	709.2	7.6
4	681.5	7.3



※外国客は乗務員等を含む

外国客 入域観光客数…33ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2015/4	130.6	76.7
5	133.7	45.8
6	149.2	56.2
7	163.0	76.6
8	154.7	83.7
9	149.6	49.7
10	145.1	54.7
11	113.4	101.1
12	128.3	98.3
2016/1	114.9	69.2
2	149.9	72.9
3	137.9	74.6
4	162.2	24.2



※外国客は乗務員等を含む

4月の入域観光客数は、46,100人多い681,500人(前年同月比7.3%増)となり、43ヵ月連続で前年同月を上回りました(4月としては過去最高)。

内訳をみると、「国内客(同2.9%増)」は519,300人と、熊本地震の影響によるキャンセルが一部でみられたものの、航空路線の拡充等により東京、大阪方面からの入込が増加したほか、ゴールデンウィーク前半の旅行需要も加わったことなどから好調に推移し、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同24.2%増)」は、162,200人と33ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空路線の拡充(台湾、中国本土、韓国方面等)やクルーズ船の寄港回数増加等により空路・海路ともに好調に推移したことから、前年同月を上回りました。

「台湾(同10.3%増)」「韓国(同35.4%増)」「中国本土(同64.9%増)」「香港(同4.1%増)」

※乗務員等を除く2016年4月実績＝全体659,700人(同5.7%増)、外国客140,400人(同17.8%増)、国内客は変わらない。

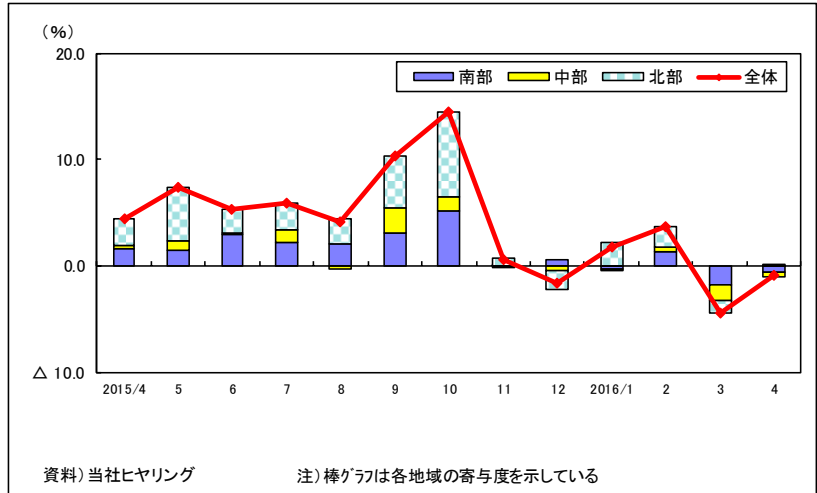


②観光施設入場者数…2ヵ月連続で前年同月を下回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2015/4	4.3	r 4.3	2.1	5.1
5	7.3	3.4	7.0	10.9
6	5.3	7.4	1.8	4.3
7	6.0	6.4	10.1	4.8
8	4.1	6.3	△ 2.7	4.3
9	10.3	8.7	21.4	9.0
10	14.4	12.7	9.8	17.2
11	0.6	△ 0.4	0.3	1.7
12	△ 1.6	1.4	△ 3.6	△ 3.8
2016/1	1.8	△ 0.7	△ 1.4	4.6
2	3.7	3.3	3.5	4.0
3	△ 4.4	△ 4.6	△ 11.4	△ 2.2
4	△ 0.9	△ 1.6	△ 3.0	0.3

\*調査対象施設数＝南部6、中部6、北部5施設



観光施設入場者数は、全体で前年同月より 0.9%減少(2ヵ月連続)しました。地域別にみると、北部にある観光施設は同 0.3%増と2ヵ月ぶりに前年同月を上回り、南部は同 1.6%減と2ヵ月連続、中部は同 3.0%減と2ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③ホテル稼働率…リゾートホテルは前年同月を上回り、シティホテル、ビジネスホテルは下回る。

単位: %、ポイント

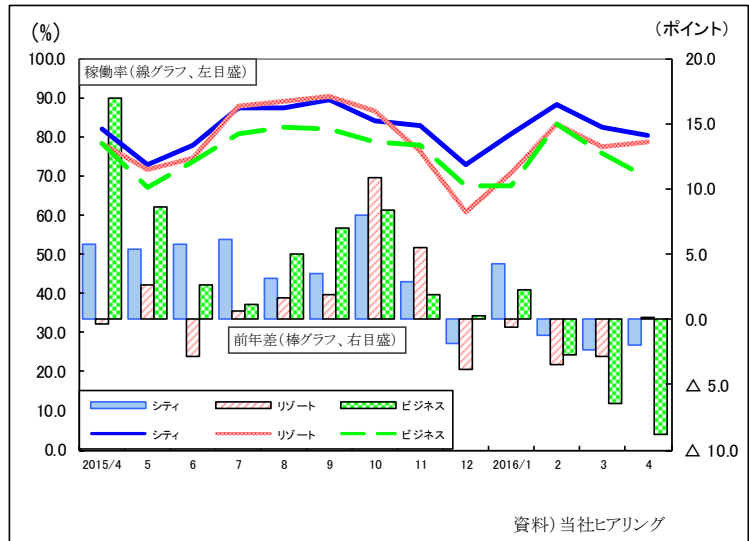
	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2015/4	82.1	r 78.4	78.1	5.8	r △ 0.3	16.9
5	72.9	r 71.4	67.1	5.4	r 2.6	8.6
6	78.0	r 74.5	73.6	5.8	r △ 2.9	2.6
7	87.2	r 87.9	80.6	6.1	r 0.7	1.1
8	87.5	r 89.0	82.2	3.1	r 1.7	5.0
9	89.3	r 90.4	82.1	3.5	r 1.9	7.0
10	83.9	r 86.7	78.6	8.0	r 10.8	8.4
11	82.9	r 76.0	77.6	2.9	r 5.5	1.9
12	72.8	r 60.9	67.4	△ 1.8	r △ 3.8	0.3
2016/1	80.5	r 70.9	67.3	4.2	r △ 0.6	2.2
2	88.3	r 83.3	83.4	△ 1.2	r △ 3.5	△ 2.7
3	82.3	r 77.3	75.9	△ 2.3	r △ 2.8	△ 6.5
4	80.1	r 78.6	69.3	△ 2.0	r 0.2	△ 8.8

注)シティ9ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス7ホテル

注)2015年10月より、シティホテル対象施設数が変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

注)2016年4月より、リゾートホテル対象施設数が変更(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

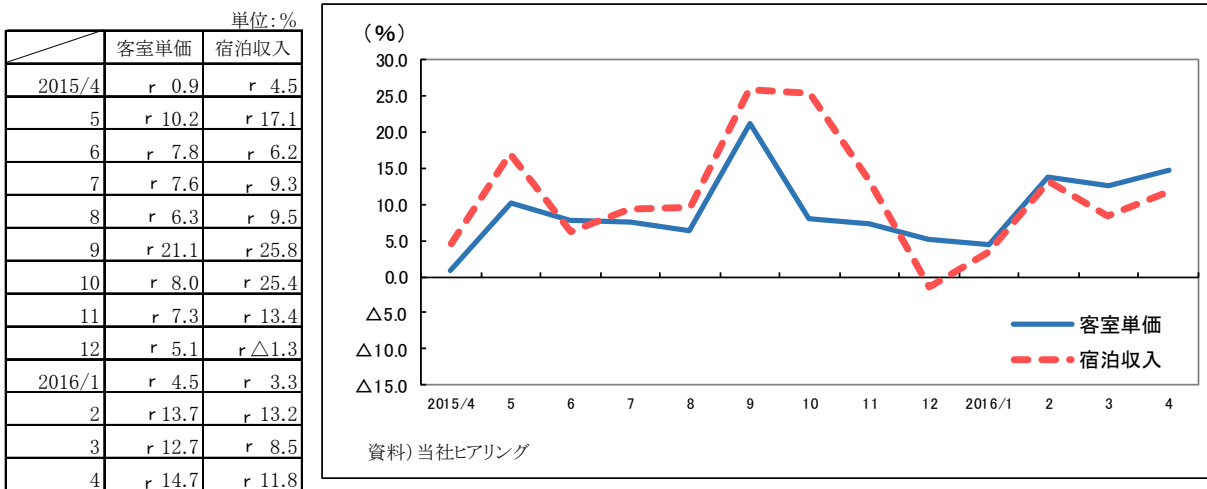
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



県内ホテル稼働率は、シティホテルが 80.1%と 2.0ポイント減少(3ヵ月連続)、リゾートホテルが 78.6%と 0.2ポイント上昇(5ヵ月ぶり)、ビジネスホテルが 69.3%と 8.8ポイント減少(3ヵ月連続)しました。



④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。



※対象施設数:27施設(シティ9、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は27施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※2015年10月より、シティホテル対象施設数が変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

※2016年4月より、リゾートホテル対象施設数が変更(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

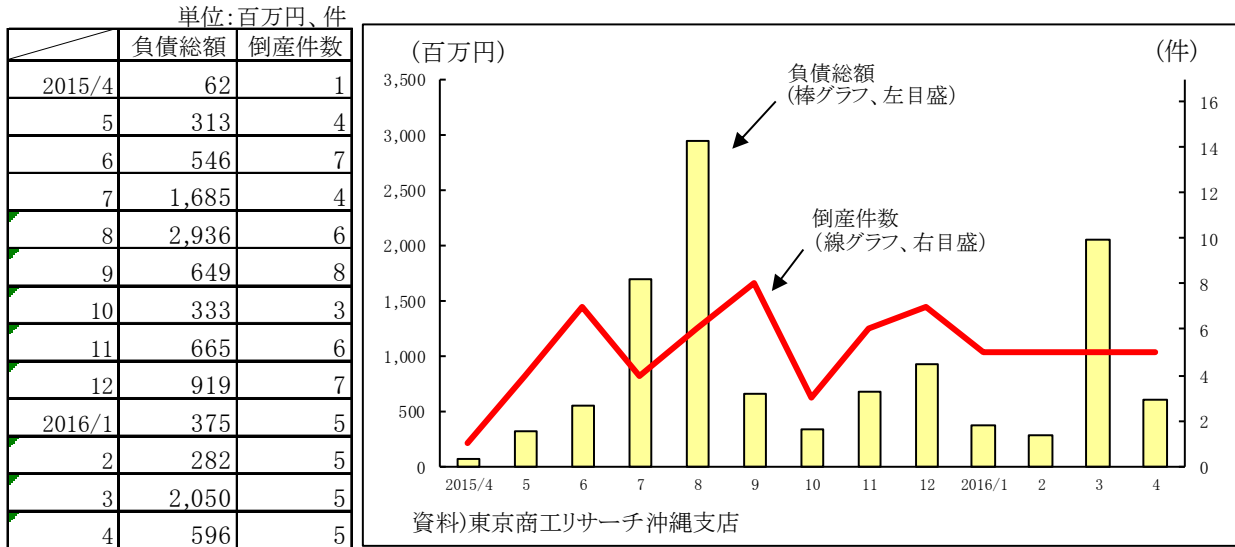
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

**ホテル客室単価**(シティ&リゾート)は前年同月比 14.7%増と前年同月を上回りました。**宿泊収入**も同11.8%増と前年同月を上回りました。



■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

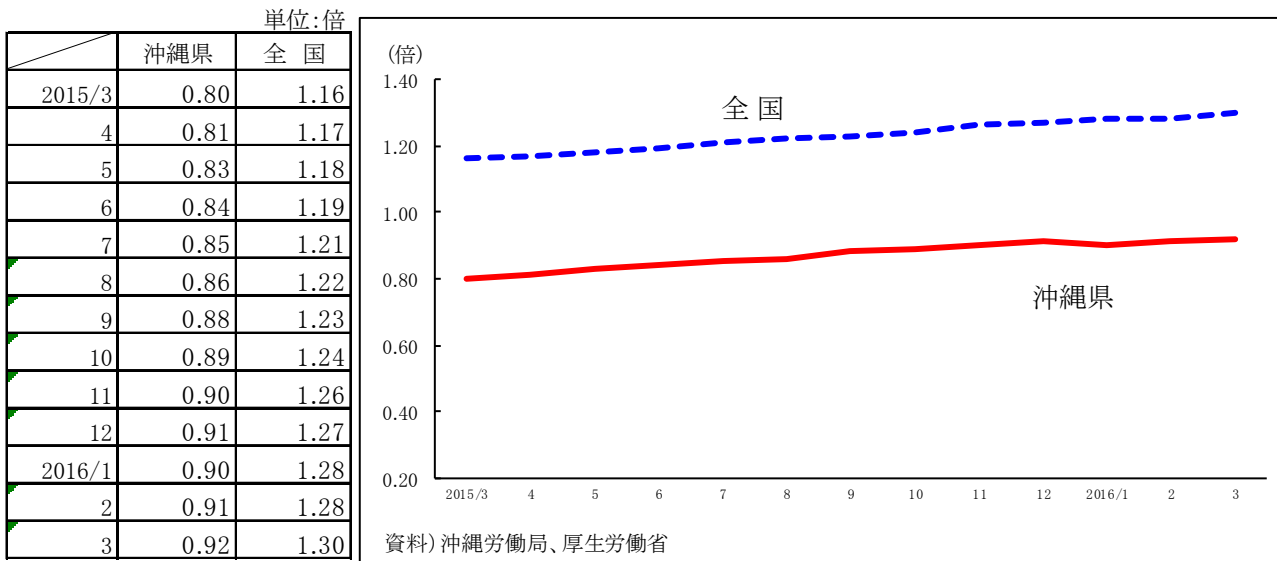


4月の企業倒産件数は、5件(うち、1億円以上の大口倒産が2件)発生し前年同月より4件多く、負債総額は5億9,600万円の前年同月より増加しました。



【参考】雇用関連: (良い)

(参考)有効求人倍率(3月)…沖縄、全国はともに前年同月より上昇。



注) 季節調整済

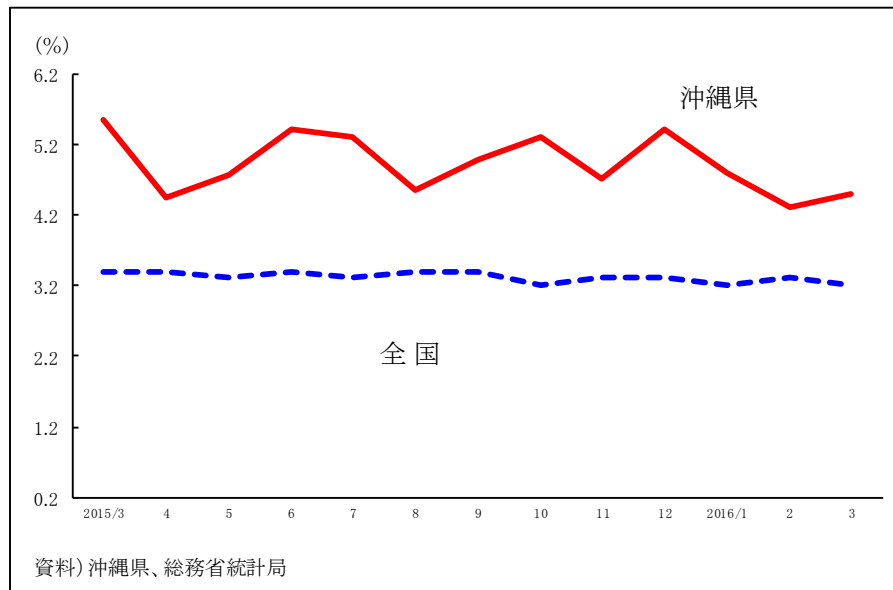
注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

3月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比0.4%増の26,099人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比0.2%減の28,453人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.92倍となり前月より0.01ポイント上昇しました。

(参考) 完全失業率(3月)…前月より上昇。

単位:倍		
	沖縄県	全国
2015/3	5.5	3.4
4	4.4	3.4
5	4.8	3.3
6	5.4	3.4
7	5.3	3.3
8	4.6	3.4
9	5.0	3.4
10	5.3	3.2
11	4.7	3.3
12	5.4	3.3
2016/1	4.8	3.2
2	4.3	3.3
3	4.5	3.2

注) 季節調整済



3月の完全失業率(季節調整値)は、4.5%となり前月より0.2ポイント上昇しました。